

2019年度第2回小倉競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 小倉サマージャンプ（J・GⅢ）

本競走は、平成11年に創設された障害重賞競走。正面中央の竹柵障害は、120cm・130cm・140cmの3段階に高さが可変する上下動式障害で、本競走は高さ140cmを使用して行われる唯一の競走。

○ 国東特別

国東（くにさき）は、大分県の北東部に広がる半島、また同半島最東端の市。平安時代から鎌倉時代にかけて多くの社寺が作られ、石仏や板碑などの仏教遺跡が点在している。また、「くにさき銀たち」と呼ばれる太刀魚が多く水揚げされることでも有名。

○ 由布院特別

由布院（ゆふいん）は、大分県中部、由布市の温泉地。JR由布院駅から金鱗湖までの「湯の坪街道」は、土産物店や飲食店が軒を連ね、観光客で賑わっている。

○ 薩摩ステークス

薩摩（さつま）は、西海道に位置する旧国名。現在の鹿児島県の西半分にあたる。戦国時代以降は島津氏の統治下にあった。三方を海に囲まれた環境であることから古来より貿易が盛んで、海外文物の流入地ともなっていた。

<第2日>

○ 響灘特別

響灘（ひびきなだ）は、福岡県の北東方、山口県の西方の海域。西は玄界灘に続き、冬季は季節風が強く吹くことから、古来より大陸への重要航路であったとされる。沿岸には古代の遺跡が多く見られ、中国大陸や朝鮮半島との交流が深かったことを今に伝えている。

○ 不知火特別

不知火（しらぬい）は、夜間の海上に多くの光が点在し、ゆらめいて見える現象。干潟の冷えた水面と大気との間にできる温度差によって、漁火が無数の影像をつくる異常屈折現象とする説が有力。八代海や有明海は、不知火の名所として知られる。

○ 佐世保ステークス

佐世保（させぼ）は、長崎県北部、北松浦半島南岸の市。オランダの街並みを再現したテーマパーク「ハウステンボス」が有名で、年間を通して多くの観光客で賑わっている。

なお、同テーマパーク内には JRA の場外勝馬投票券発売所であるウインズ佐世保がある。

<第3日>

○ 筑紫特別

筑紫（ちくし）は、九州の古称。「つくし」ともいう。筑前国、筑後国を中心とする北九州を指す場合や、九州全体を指す場合などがある。

○ 都井岬特別

都井岬（といみさき）は、宮崎県南端、日向灘と志布志湾とを分ける岬。日南海岸国立公園に属し、国の天然記念物であり現存する日本在来馬のひとつである御崎馬が生息している。

○ ディープインパクト追悼競走 九州スポーツ杯

本競走は、去る 7 月 30 日（火）に死亡したディープインパクト号の生前の功績を称えて追悼競走として実施される。

九州スポーツは、東京スポーツ新聞社が九州地区で発行するスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第4日>

○ 筑後川特別

筑後川（ちくごがわ）は、熊本・大分・佐賀・福岡の 4 県を流れる 1 級河川。全長は 143km で九州一の長さを誇る。九重連山に源を発する玖珠川と阿蘇山に源を発する大山川が、日田盆地で合流して三隈川となり、福岡県に入って筑後川となる。

○ RKB 賞

RKB は福岡市に本社を置く RKB 毎日放送の略称。昭和 26 年開局で、TBS 系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ ディープインパクト追悼競走

サマー2000シリーズ農林水産省賞典小倉記念（GⅢ）

本競走は、去る7月30日（火）に死亡したディープインパクト号の生前の功績を称えて追悼競走として実施される。

同競走は、全5戦で実施されるサマー2000シリーズの第3戦であり、昭和40年に創設された重賞競走。当初より2000mのハンデキャップ戦で実施されていたが、平成7年に別定重量戦に変更された。12年より再びハンデキャップ戦となり、現在に至る。

○ 小郡特別

小郡（おごおり）は、山口県山口市にある地名。江戸時代には山陽道の宿場町として栄え、昭和50年に山陽新幹線、58年に中国自動車道が開通し、山口県の玄関口として重要な役割を果たしている。

なお、同地にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ小郡がある。

<第5日>

○ フェニックス賞

フェニックス（Phoenix）は、ヤシ科の植物。外来種であり、南九州地区に多く見られる。

また、エジプト神話の不死鳥のこと。アラビアの砂漠に住み、500年に一度、自ら火中に入って焼かれ、その灰の中から幼鳥の姿となって再生するなどの言い伝えがある。

○ 宮崎特別

宮崎（みやざき）は、九州南東部に位置する県。マンゴーや日向夏など、南国の温暖な気候を利用した農産物が有名。

また、同県南東部の市。同市は、JRAの競走馬育成施設である宮崎育成牧場の所在地であり、育成された競走馬は主にJRAブリーズアップセールで売却され、JRA育成馬としてデビューする。なお、牧場内にはJRAの利用者登録制の場外勝馬投票券発売所であるウインズ宮崎がある。

○ 阿蘇ステークス

阿蘇（あそ）は、九州中央部にある複式活火山。中央には、高岳をはじめとする阿蘇五岳がそびえる。外輪山と数個の中央火口丘からなり、世界最大級のカルデラを形成している。

また、熊本県北東部、阿蘇山の北麓に位置する市。温泉やキャンプ場などが多数あり、観光地として人気がある。

＜第6日＞

○ 青島特別

青島（あおしま）は、宮崎市南部、日南海岸の北端にある島。周囲は浸食されて海食台を成し、「鬼の洗濯板」と呼ばれる景観を呈している。また、ビロウなどの亜熱帯性植物群落は、国の特別天然記念物に指定されている。

○ 西部日刊スポーツ杯

西部日刊スポーツは、福岡市に本社を置く日刊スポーツ新聞西日本西部本社が発行するスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 博多ステークス

博多（はかた）は、福岡県福岡市の区。また、福岡市街地の別称。古来、博多は太宰府の外港として、大陸文化輸入の玄関口として栄えた。毎年5月に催される「博多どんたく」、7月に催される「博多祇園山笠」などの祭りが有名。

なお、同区にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるエクセル博多がある。

＜第7日＞

○ 英彦山特別

英彦山（ひこさん）は、福岡県と大分県の県境にある奇石、奇峰に富む火山群の主峰。標高1,199m。北岳・中岳・南岳の三峰からなり、中岳に英彦山神宮がある。山中には、国の重要文化財に指定されている奉幣殿（ほうへいでん）と銅鳥居（かねのとりい）や、国の天然記念物に指定されている鬼杉がある。

○ 戸畑特別

戸畑（とばた）は、北九州市にある区。洞海湾の湾口の南側に位置する。毎年7月に催される「戸畑祇園大山笠」が有名。同行事は国の重要無形民俗文化財に指定されており、福岡県夏の三大祭りのひとつとして「提灯山」の愛称で広く親しまれている。

○ テレQ杯

テレQは、北九州市と福岡市に本社を置くTVQ九州放送の愛称。平成3年開局で、TXN（テレビ東京）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

＜第8日＞

○ 天草特別

天草（あまくさ）は、天草諸島にある市。また、同諸島の略称。天草諸島は、熊本県宇土半島の南西にある島々。上島・下島を主島とする 120 余の島からなり、地理上は鹿児島県の長島なども含まれる。温暖な気候で、一年を通してイルカウォッチングが楽しめる。

○ 西部スポニチ賞

スポニチは、東京と大阪に本社を置くスポーツニッポン新聞社が発行しているスポーツ紙の略称。九州地方では、福岡市に所在するスポーツニッポン西部総局が、同紙を発行している。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ サマースプリントシリーズテレビ西日本賞北九州記念（GⅢ）

全 6 戦で実施されるサマースプリントシリーズの第 4 戦。

本競走は、昭和 41 年に創設された重賞競走。当初は 2000m のハンデキャップ戦であったが、44 年に短縮されて 1800m となり、47 年より別定重量戦に変更された。平成 18 年より 1200m のハンデキャップ戦となり、現在に至る。

テレビ西日本は、福岡市に本社を置く放送局。昭和 33 年開局で、FNS（フジテレビ）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

＜第9日＞

○ ひまわり賞

ひまわり（向日葵）は、北アメリカ原産のキク科の一年草。夏に周囲が鮮黄色、中央が褐色の大きな頭状花を横向きに咲かせる。種は食用や油にも加工される。花言葉は「あこがれ」「熱愛」。

○ 西海賞

西海（さいかい）は、西方の海のこと。特に、瀬戸内海または九州の海を指す。また、西海道の略。西海道は、五畿七道のひとつで、今の九州地方全域にあたる。現在では主として西九州方面を意味し、西海国立公園・西海橋などの名称に使われている。

○ 釜山ステークス

釜山（ぷさん）は、大韓民国南東部に位置する広域市。国内第二の都市として政治・経済・文化面で重要な役割を担っている。日本との関係も深く、小倉競馬場と釜山競馬場は姉妹競馬場として提携している。

＜第 10 日＞

○ 鳥栖特別

鳥栖（とす）は、佐賀県東部の市。律令時代は宿駅、江戸時代は長崎街道の宿場町として発展した。現在も九州の交通の要衝として知られ、国道 3 号と 34 号線、鹿児島本線と長崎本線の分岐点である。また、市内には国の天然記念物であるカササギの生息地がある。

○ 別府特別

別府（べっふ）は、大分県中部、別府湾奥にある市。別府八湯を中心に発展した温泉地として有名。温泉熱を利用した研究所・療養所・保養所などの施設が集中している。

○ 小倉日経オープン

日経は、東京と大阪に本社を置く日本経済新聞社が発行する日本経済新聞の略称。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

＜第 11 日＞

○ 八幡特別

八幡（やはた）は、北九州市にある区。明治時代に八幡製鉄所が開設されて以来、工業地帯として発展した。昭和 38 年に八幡市から北九州市八幡区となり、49 年に東西に分区した。

○ 玄海特別

玄海（げんかい）は、玄界灘に面する地名。リアス式の海岸部は国定公園に指定されている。玄界灘は、対馬海流が流れ、日本近海でも有数の漁場である。西は対馬海峡、東は響灘に連なる。

○ 北九州短距離ステークス

北九州（きたきゅうしゅう）は、福岡県北部にある政令指定都市。同市の官営八幡製鉄所関連施設を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録されている。

なお、同市は小倉競馬場の所在地でもある。

＜第 1 2 日＞

○ 若戸大橋特別

若戸大橋（わかとおおはし）は、北九州市若松区と戸畑区を結ぶ全長 627m の橋。昭和 37 年開通。鮮やかな赤い橋は港の象徴となっている。

○ 西日本スポーツ杯

西日本スポーツは、福岡市に本社を置く西日本新聞社が発行するスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 小倉 2 歳ステークス（GⅢ）

本競走は、昭和 56 年に創設された重賞競走。平成 12 年までは『小倉 3 歳ステークス』として実施されていたが、13 年の馬齢表記の国際基準化に伴い、現在の名称に改められた。創設当初から 1200m で実施され、夏の小倉開催のフィナーレを飾る競走として定着している。